

令和6年度前期 日高支部活動報告

1. 年間活動計画

日程	事項	場所	備考
4月16日(火)	会員募集連絡		管内教頭会にて
4月27日(土)	北海道学校体育研究連盟 定期総会	札幌	
5月31日(金)	日高管内学校体育研究会 総会	遠隔	
9月20日(金)	公開研修会 ・公開授業 ・教育局の講座 ・実技講習		授業者 堂下 講師 中尾主査 実技 清水
10月18日(金)	北海道学校体育研究連盟 札幌大会	札幌	
2月20日(火)	日高管内学校体育研究会 総会	遠隔	

2. 今年度の研究テーマ

「主体的・対話的で深い学びの体育授業づくり」

児童生徒一人一人が課題に対して「問題意識」をもち、「自分自身で判断し、行動できる」授業を目指す。

3. 活動報告

9月20日の公開研修会は、日高教育研究所・教職員研修センター主催事業の研修講座と兼ねる形で行われた。

内容は大きく分けて

- ①体育研究会の公開授業及び研究協議
- ②日高教育局の体力向上に関する講座
- ③体育研究会の実技講習の3つ。

公開授業は、新ひだか町高静小学校 堂下貴章教諭のタブレット端末を活用した「マットを使った運動遊び」。

研究協議では、公開授業がどうだったのかに捉われないようにした。質疑を受け付けた後は、参加者のICT 機器活用を交流し、今後どのような授業を展開したいかということ盛り込んだ指導案作りを行った。いつもとは違う研究協議となり、より活発な質疑応答や意見交換が行われ、盛況の中で終わった。

また、実技講習の「器械運動の仕組み」は、えりも町立えりも岬小学校 清水淳教頭が担当。なぜ体力をつけるのかという講話から始まり「動感」「アナログン」「学習性無力感」について解説した。

マット運動と跳び箱の腕支持は、共通の動作ということを再確認し、全日程を終了した。

